

20周年記念国際シンポジウム

培養肉の開発など革新的技術の発展に伴い、食品安全に関する新たな課題も顕在化しつつあります。一方で、数理モデルやコンピュータによる予測などを活用した新しいリスク評価手法の開発も進んでいます。

シンポジウムでは、海外機関から、リスク評価機関として今後様々な要請・課題に備えていかなければならないことが指摘され、新たな評価手法の開発

やそれをサポートするための国際的な取組が紹介されました。

食品安全委員会は、今後の取組やデータギャップ、新たな課題の解決のために、情報や知識をシェアするための国際的な協力関係の構築が必要であると提案し、他の機関もそのことを共通認識としました。その課題を解決するための人材育成の必要性についても議論しました。

開催日 2023年9月1日

開催場所 三田共用会議所

参加者 会場164名(うち報道6社)、オンライン460名

プログラム

(1) 食品安全委員会20周年記念式典

(2) シンポジウム

第1部 「リスク評価機関が今後直面する新たな課題」

第2部 「新たな評価手法の導入」

第3部 「将来に向けたリスク評価機関の体制整備」



食品安全委員会
20周年記念シンポジウム

国際機関等からの招聘講師

シンガポール食品庁 Tan Lee Kim 氏

米国食品医薬品庁 Kristi Muldoon Jacobs 氏

欧州食品安全機関 Carlos Gonçalo Das Neves氏、Barbara Gallani氏

経済協力開発機構 Bob Diderich 氏

(一財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所 広瀬 明彦 技術顧問

06 国際協調

委員、専門委員又は事務局職員が、以下の国際会議等に参加し、各国の専門家・関係機関との意見・情報交換等を行いました。

2023年度

4月 第21回フレゼニウス国際学会※(ウェブ)

※Akademie Freseniusという団体が主催する食品安全とリスク評価に関する学会

5月 FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)トレーニングコース(カナダ)

7月 食品安全に関する国際食品保全学会(IAFP カナダ)

8月 米国バイオテクノロジー視察(米国)／生命科学における動物実験代替法に関する国際会議(WC12 カナダ)

9月 Eurotox 2023(スロベニア)、FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR 米国)
レギュラトリーサイエンスに関する国際会議(GSRS22 イタリア)

10月 豪州・ニュージーランド当局(FSANZ・CSRIO)との会合及び培養肉製造企業工場訪問(豪州・ニュージーランド)
SFA主催 新規食品規制に関する座談会(シンガポール)

12月 国際アレルギー学会(WAC タイ)

3月 米国毒性学会(SOT Annual Meeting and ToxExpo)(米国)

その他

コーデックス委員会第47回食品表示部会CCFL(5月)

第39回経済協力開発機構(OECD)農業作業部会(2月)